

第22回 乙女高原フォーラム



2025年1月26日(日)

午後1時 ~ 3時30分

夢わーく山梨 (地図裏面)

参加費 無料 申込み 不要



【テーマ】

さく かこ
柵で囲って10周年
もど
~ 虫も戻ってきた乙女高原 ~

2010年、乙女高原に小さな柵を設置しました。柵の中はきれいな花が咲いているのに外はススキばかり。そこで、植物の茎を途中で切る実験をしました。虫媒花^{※1}の多くは枯れたのに、ススキはほとんど影響ありません。これは「虫媒花はシカに食べられるとダメージを受けるが、ススキは大丈夫」なことを示唆しています。この頃、乙女高原がススキ原になってしまったのは、シカが原因だったかもしれません。

2015年、草原を囲う広い柵を設置しました。訪花昆虫^{※2}調査を行ったところ、柵ができる前の10倍もの数が記録されました。柵設置によって植物が戻っただけでなく、昆虫も戻ってきたということです。私たちは調査を通して、生物多様性^{※3}やその再生を実感することができました。

フォーラムでは、これら乙女高原の市民科学調査にいつも温かいアドバイスをいただいていた高槻成紀さんに、調査の成果から裏話に至るまで存分に語っていただきます。

※1 昆虫に受粉してもらう花 ※2 花を訪れる昆虫。多くは花粉を媒介する

※3 生きものたちの豊かな個性とつながりのこと

今回のスペシャルゲスト

高槻 成紀さん



たかつき せいきさん。東北大学、東京大学、麻布大学で研究教育をした。生き物のつながりに興味があり、シカと植物、タヌキと果実、フクロウの食べ物などを調べており、2010年からは乙女高原の動植物調査に関してアドバイスしている。地元の玉川上水の保全活動にも取り組む。著書に「野生動物と共存できるか」「動物を守りたい君へ」「都市のくらしと野生動物の未来」(岩波ジュニア新書)、「唱歌『ふるさと』の生態学」「シカ問題を考える」(ヤマケイ新書)など。

主催：乙女高原ファンクラブ・山梨市・山梨県